

☆ 多様なものの見方・考え方



「多様性を認め合う」ことに関する演習ってあるの？

学級づくりでの演習などは、様々な参考となる本が出ています。当センターでは、ある高校で実践した内容を紹介します。

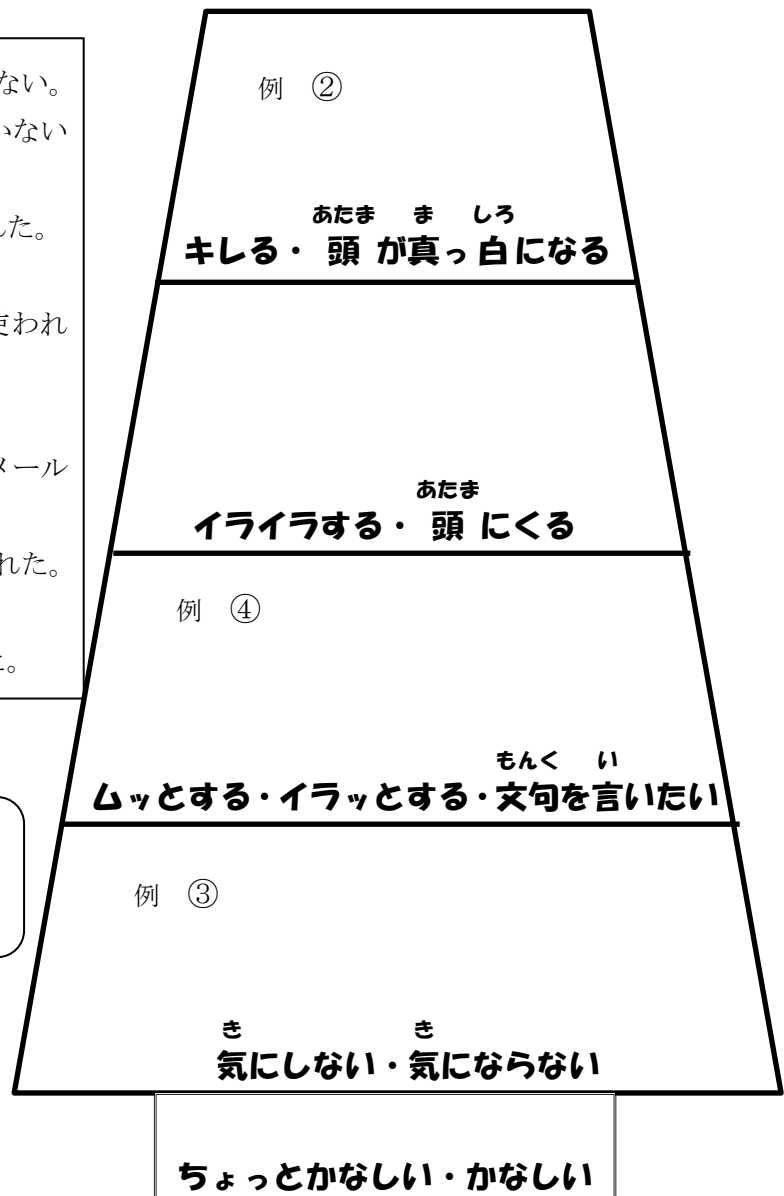


下記の①～⑩に関して、右図のどの段階に当てはまるか、番号を書いてください。

図 感情のタワー

- ① 友だちにあいさつをしても返されない。
- ② 「君のせいだよ。」と、うまく行かない時に、決めつけられた。
- ③ 親から「勉強しなさい。」と言われた。
- ④ 友だちのミスで勝負に負けた。
- ⑤ 隣の友だちに勝手に自分の物を使われた。
- ⑥ 体の特徴をバカにされた。
- ⑦ LINEで既読スルー、もしくはメールでの返信がない。
- ⑧ 何もしていないのに、見て、笑われた。
- ⑨ 好きな人に告白して振られた。
- ⑩ 友だちから「うざい。」と言われた。

隣の人と見比べてみるとどうですか？



【多様なものの見方・考え方を知ること】

この演習では、隣同士の児童生徒で見せ合うと、自分の感情だけでなく、他者の感情との違いを理解することができます。

学校で、こんなことはありませんか？

それぐらいで、なんで怒っているの？普通だよ。
大丈夫だって…（相手が怒っている言動を繰り返す）。



ある高校生



対人トラブルに発展…



演習後のある高校生の感想



「自分が良いから相手にもやる。しかし、**相手側はすごく嫌だった**という経験がありました。楽しいこと苦しいこと全部含めて、自分が今まで経験してきたことを考え直させてくれるような機会となりました。少し前向きにいこうという気持ちをもっていました。」

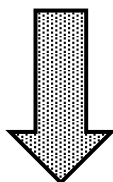
同じ言葉や行動でも、「気にしない」「イライラする」「悲しい」など人の言葉や行動に対してのもの見方・考え方（価値観）が違うことを再認識してもらうことが大切です。

【受け止めてから、必要な指導や支援を】

実は、私たちも、「それぐらいのことで…」と、自分の価値観を無意識に押しつけてしまうことがあります。

本人にとって「どれくらいか」は、本人しか知らないのです。

その点を踏まえて、児童生徒が大事にしている価値観を尊重し、認めることでどの児童生徒にとっても安心感が生まれ、教師の話も受け入れる素地ができやすくなります。



一方的に指導されることよりも、
本人に伝わりやすくなります。



それを踏まえた上で、社会的に守るべきルールや相手に対しての言動等について、
しっかりと指導することも必要となってきます。

多様性を認め合う学級づくりには、まず、多様なものの見方・考え方を認め合う土台が大切です。

* 各学校、学級の実態に応じて必要項目を書き換えれば、自校の演習等でも使えます。50～51pを参考にしてください。